

広報紙

秀友便り



発行：医療法人秀友会 札幌秀友会病院 札幌市手稲区新発寒 5 条 6 丁目 2-1 電話：011-685-3333

ホームページ：<https://www.shuyukai.or.jp/>

札幌市西区介護予防センター発寒の活動をご紹介します

介護予防センターは、高齢者の方々が住み慣れた地域でいつまでも暮らせるように、介護予防教室の開催や地域の介護予防活動の支援を行なうなど、介護予防の拠点および地域高齢者の身近な相談窓口の機能を担っております。また、地域包括支援センターの役割を補完する機関として札幌市内 53 か所に設置されております。

介護予防センター発寒の担当地区は発寒地区と発寒北地区です。発寒・発寒北地区では、すこやか倶楽部という介護予防教室を開催しております。内容はミニ健康講話・認知症予防・転倒予防・ストレッチ運動・筋トレ・西区ご当地体操「やまべエ体操」などがあり、参加無料となっておりますので是非お気軽にご参加下さい。また、会場設営などをサポートいただいている介護予防サポーター（ボランティアさん）も募集しております。



札幌秀友会病院・介護予防センター 体力測定会を開催

札幌秀友会病院リハビリテーション科では、介護予防センターと協働し定期的に体力測定会を実施しております。

今回は、西宮の沢地域にお住いの自主体操グループに参加する方々に対して、2025 年 6 月 10 日に体力測定会、6 月 17 日に結果のフィードバックを行いました。

測定項目は、①TUG(timed up and go test) ②握力 ③5m 歩行テスト ④立ち座り ⑤片脚立位保持の 5 項目で、以前参加時との変化点や低下している項目から、理学療法士より個別性に合わせたフィードバックを実施し、自主トレーニングや生活上のアドバイスを行いました。

地域の方々が住み慣れた場所で長く元気に暮らすことができるよう、運動を意識した生活の獲得に向けて支援を継続していきます。



チームオレンジの取り組み

チームオレンジとは、認知症と思われる初期段階から、心理・生活面の支援として市町村がコーディネーターを配置し、地域で把握した認知症の方の悩みやご家族の身近な生活支援ニーズとオレンジサポーター（ボランティアを中心とした支援者）をつなぐ仕組みのことです。

手稲区では 2024 年 4 月より取り組みが始まっており、チームオレンジは「スマイルオレンジチーム」と「個別マッチング」等の取り組みを行っております。今回は「スマイルオレンジチーム」の取り組みについてお伝えいたします。

「スマイルオレンジチーム」は、認知症のご本人がやってみたいことを実現に向けて話し合い取り組む場です。認知症のご本人・ご家族とオレンジサポーターの皆さんが話し合いながら、取り組んでいます。今までの取組内容としては、懐かしの歌を歌う、折り紙やお手玉などの昔遊び、水芭蕉や桜を見に行く外出等があり、当日に「これをやってみよう！」と取り組むことも多いです。また、ご家族同士が語り合う場も設けています。手稲区第 1 包括、第 2 包括で、各自開催されており、週 2 回程度開催されています。日程は包括支援センターのホームページに載せておりますので、ご確認の上、お気軽にご参加ください。

第 1 包括 スマイルオレンジチーム

- ・ 場所：手稲区第 1 地域包括支援センター 会議室
- ・ 時間：週 2 回

10：00～12：00 または 13：30～15：30



第 2 包括 スマイルオレンジチーム

①区民センター 2 階

時間：週 1～2 回

9：30～11：30

または 13：30～15：30

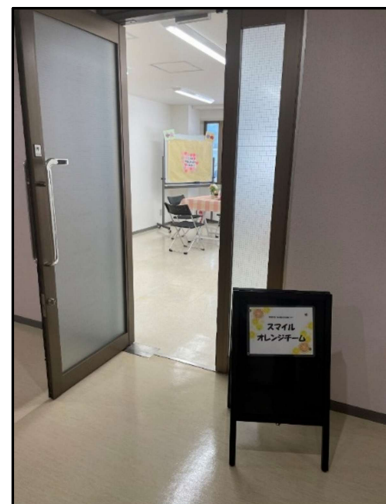
※午後を中心に開催

②稲穂会館 1 階

時間：月 1 回 第 2 月曜

* 祝日の時は日にち変更

10：00～12：00



この度、当院において「特定行為研修」を修了した特定看護師が誕生しました

特定行為とは、あらかじめ医師が定めた手順書に基づき、看護師が診療の補助行為を実施することで、保健師助産師看護師法および厚生労働省省令によって規定されたものです。当院では特定行為研修を修了した看護師を特定看護師と呼んでいます。

特定行為を実施するメリットとしては、医療チームの一員として医学的知識や技術を強化した上で、病態の変化や疾患、患者さんの背景等を包括的に評価・判断し、質の高い看護・医療の効率的な供給につながります。

看護部としては、今後も地域の皆様が安心して医療を受けられるよう、看護の質の向上と人材育成に力を入れてまいります。

●実施可能な特定行為

- ・経口用気管チューブ又は
経鼻用気管チューブの位置の調整
- ・非侵襲的陽圧換気の設定の変更
- ・侵襲的陽圧換気の設定の変更
- ・人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静剤の投与量の調整
- ・人工呼吸器からの離脱
- ・気管カニューレの交換
- ・持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
- ・脱水症状に対する輸液による補正

